

子どもの安全見守る CONPASS 東急建設

緊急時の子どもの安全確保や学校からの連絡網の確保などが課題になっている中で、子どもに携帯電話を持たせるかどうか、私学にとっては難しい判断を迫られている。対策の一つとして東急建設ソリューション事業部が提案しているのが「CONPASS」、登下校通知メール、連絡メッセージ、斉配信、出席管理などの基本機能を持つ。カスタマイズの相感にも応じている。小学校の導入事例を紹介する。

学校 都小 市大 京属 東付
パスモをポールにかざすと
「おはよう」とあいさつ

登校してきた児童たちポールが口ポットみたいで、昇降口に設置されたポール型カードリーダーだ。

パスモをかざすと、ポールが「おはよう」とあいさつする。同時に保護者に「〇時〇分、〇〇くんは登校しました」とメ

ールが飛び、担任のパソコンにも出席が記される。下校のときはポールが「さようなら」と言う



ホール型カードリーダーにタッチ

開発されたのが CONPASS。東急建設が導入しているのは、同校が導入第一号でもあり、ポール型カードリーダーにも様々な工夫がある。

途中だった児童は、保護者を迎えに行った。CONPASSで下校時間

保護者にとっては登下校の時間や通学にかかった時間が毎日分かる、安全確認が毎日できるという安心感は大い。

児童たちが持つパスモは交通系ICカード。誰でも簡単に手に入れることができる。システムへの登録は八十人分のパスモ

なる約四十分で登録が終わる。入学式の前に預かっておけば入学式後にも返せる。紛失した場合も教職員のパソコンで簡単に登録抹消・再登録でき

る。電車やバス通学の児童の定期券が使えるので学校側の負担もない。

児童はすぐに教職員が迎えに行き、車中など帰宅